

社協だより

第199号

2023.10. 1

点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 福岡県直方市津田町7番35号
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogata-shakyo.org/



「からからつみき」で遊ぶ子どもたち

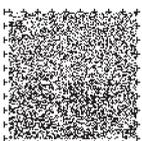
～おもちゃ図書館のおがたサマーイベントにて～

もくじ

- 赤い羽根共同募金
認知症相談サポート講座「どうする家族の介護」
図書室(ぼくはあと何回、満月を見るだろう) 2
- 社協からのお知らせ(社協会員募集、登録ヘルパー募集、食品寄贈、おもちゃ図書館のおがたご寄附)..... 3
- 報告 買い物支援モデル事業
災害ボランティアバス運行..... 4

おもちゃ図書館のおがたは今年で設立15年を迎え、二度の移転を経て、今年の5月より「ここっちゃん」で活動しています。商店街の一角での活動を通して、徐々に新しい利用者も増えてきました。今後はおもちゃ図書館本来の目的である、障害があるお子さんも利用しやすい工夫や、イベントをもっと考えていきたいと思っています。同時に新しいスタッフも大募集中です。

(石黒)



kantera

おもちゃ図書館のおがた

カンテラ



8月5日(土)の五日市、直方市商店街の中でひとときわ盛り上がったのが、多世代交流スペース「ここっちゃん」で実施された、おもちゃ図書館のおがた主催のサマーイベントです。

買い物途中で一休みしている高齢者と、パパやママに連れられた乳幼児が、一緒に「からからつみき」で楽しそうに遊ぶ姿が見られ「ここっちゃん」の設立目的にぴったりの多世代交流の光景でした。

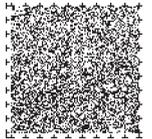
この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。



運動期間 令和5年10月1日(日)～12月31日(日)



令和5年度 赤い羽根共同募金運動が始まります



昨年度は、皆さまに多くの募金をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

令和6年度の事業を実施するため、**4,093,000円**を目標額にしています。今年度も、皆さまのあたたかい心で、出来る限りのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。お寄せいただく募金のうち、直方市の福祉のために、**3,184,600円**を下記のように活用させていただく予定です。その他は、福岡県全体の福祉や、災害時の準備金などとして使われる予定です。

『直方市で配分金を活用した事業』

児童・青少年の福祉 145,000円

おもちゃ図書館のおがた、子ども食堂などに関するネットワークづくり、団体活動助成など

高齢者の福祉 549,000円

ここにこ教室、団体活動助成など

その他の福祉 2,189,600円

広報・啓発(社協だよりの発行やホームページ運営管理) ボランティア活動資材整備・貸し出し、直方市ボランティアのつどい、ひきこもり支援、団体活動助成など

障がい児・者の福祉 301,000円

よこいと運動会、点字・拡大・音訳版「社協だより」の発行、団体活動助成など

赤い羽根共同募金では、インターネットによる募金も受け付けています。詳細については、中央共同募金会のホームページをご覧ください。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

Web募金は
こちら!

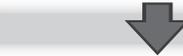


福岡県共同募金会直方市支会

TEL(0949)23-2551 FAX(0949)23-2552

募金のしくみ

戸別募金、小学校募金、街頭・イベント募金、募金箱募金、職域募金など
※様々な方法で集められています



福岡県共同募金会直方市支会
※集められた募金を全額送金します



福岡県共同募金会



直方市の福祉のために
募金運動推進のために
福岡県の福祉のために
災害時の準備金のために

令和5年度 認知症相談サポート講座 「つづける家族の介護」を 開催しました

第3位。これは、福岡県内における直轄地区の高齢者率(人口に対する65歳以上の割合)の順位です。つまり、直方市においても認知症は、「他人ごと」ではありません。誰もが関わりうる可能性のある「自分ごと」です。そんな認知症について、より身近に感じ、学び、備えるため、6月5日「つづける家族の介護」をテーマに講座を開催しました。

この講座は、認知症の人と家族の会直方との共催で、直方市健康長寿課の担当者及び8月から医療法人福翠会高山病院に開設された福岡県認知症医療センター相談員の金蔵常一(かねくらつねかず)さんにお力添えをいただき、53名もの方々に受講いただきました。

講座の中で、金蔵さんが最も強調されたことは「早期診断」「早期治療」でした。「治る認知症」や、服薬で進行を緩やかにするお話など、早期対応は今後の選択肢や可能性を増やす重要な力ギになるそうです。質疑応答では、時間が足りないほどの熱意のある意見交換が行われました。

またアンケート結果から「認知症の人」に対して「関わりを持ちたくない」という考えではなく「支えていこう」という考えの方が多く、ことが読み取れました。このことは、これまで認知症について向きあってきた方々の取り組みによって、認知症を地域単位の課題として考える気持ちが広まってきているからではないかと思えます。

今後、関係各所と地域住民の皆様が一体となつてまちづくりを行えるよう取り組んで参ります。



「ぼくはあと何回、満月を見るだろう?」

著者 坂本 龍一
発行 新潮社
直方市立図書館 所蔵

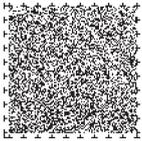
「戦場のメリークリスマス」で英国アカデミー賞音楽受賞。「ラストエンペラー」でアカデミー賞作曲賞、ゴールデングローブ賞最優秀作品賞、グラミー賞映画・テレビ音楽賞ほか、多数受賞。「LIFE」「TIME」といった舞台作品や韓国、中国での大規模インスタレーション展示など、アート界への越境も積極的に行った。環境や平和問題の言及も多く、森林保全団体を創設。また、「東北オーケストラ」を設立して、被災地の子どもたちの音楽活動を支援し、革新的なサウンドを追求し続けた。自らに残された時間を悟り坂本は語り始めた。創作や社会運動を支える哲学、国境を越えた多彩な活動、坂本家の歴史と家族への想い、ガンと共に生きること、そして自分が去った後の世界について。

2023年3月28日。

坂本 龍一 逝去
(広田)

この社協だよりは、点字版・拡大版・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡下さい。





登録ヘルパー募集

ご利用者の地域生活を、一番近くで支えるとても素敵なお仕事です。



■資格

介護職員初任者研修課程修了者
(ホームヘルパー2級以上可)

■賃金(時給)

1,100円～1,860円

利用者の笑顔を引き出した瞬間
お互いにシフトを助け合える

■問い合わせ

直方市社会福祉協議会
総務係

ヘルパー同士
わきあいあい
休日が取り
やすい

社協会員募集のお願い

直方市社会福祉協議会では「誰ひとり取り残さない」という理念を基に、「福祉のまちづくり」を進めています。しかし、地域住民の方々や団体・企業のみみなさんの応援なくしては十分な活動が行えない状況にあります。誰もが安心して暮らすことができ、**ともに生きる豊かな地域社会の実現**のために、ぜひみなさんのお力をお貸しください。

- 個人会員 1口 1,000円～
- 団体会員 1口 5,000円～(法人会員以外の団体)
- 法人会員 1口 10,000円～
(会社、事務所、施設、事業所)

直方市社会福祉協議会



～「誰ひとり取り残さない」ために
みなさんの力が必要です～

おもちゃ図書館のおがた



- 開館日：毎週土曜日
(年未年始・盆・祝日は休み)
- 時間：午前10時～12時
午後1時～3時
- おもちゃの貸出：1人2点まで
- 貸出期間：2週間
- 利用料：無料
- 場所：多世代交流スペース
ここっちゃん
(直方市古町5番35号)

食品寄贈 トヨタ自動車九州フードドライブ

トヨタ自動車九州様から、社内のフードドライブ活動で集まった食品を寄贈していただきました。今後は毎月寄贈を実施していただき、市内の子ども食堂や食事に困っている人などにお渡ししていきます。

ありがとう
ございました



- 匿名 6件
- 未使用(書損じ)はがきと切手
- 一般寄附金
直方市消防団 女性団員
- 中泉 (故)繁永和加子
- 香典返し寄附金
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)
8件 合計金額 88,196円
令和5年6月11日
～令和5年9月10日

- 匿名 4件
- 株式会社 尾山建設
- 令和5年度加入会員
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)
5件 合計金額 131,000円
令和5年6月11日
～令和5年9月10日

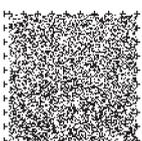


編集後記

初めて商店街で開催された昨年の「福祉まつり」に参加しました。長い商店街を進んでいけば、展示紹介やステージ・グルメなどが約50箇所ポイントに点在していて、車いすや高齢者疑似体験もあり、子どもを含めて幅広い世代の方々が体験している姿が見え、多様な福祉を楽しみながら巡ることができました。また、そこには私の子どもの頃は当たり前だった「人であふれる商店街」の景色があり、懐かしい気持ちにもなりました。

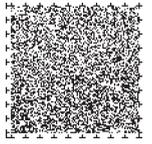
いつか人生のどこかで関わる「福祉」のお祭りが、今年10月28日(土)に開催されます。どうかお気軽にお越しください。

(藤田)



「福祉なんでも相談」受付中！お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。





買い物支援モデル事業

近年、公共交通機関の縮小や運転免許証自主返納者の増加により、日常的な買い物に不便を感じている方が増加しています。本会は、これらの状況を踏まえ、令和5年8月5日（土）に市内の3つの社会福祉法人（緑樹会「直方リハビリセンター」・誠光会「長光園」・直方市援護会「芳寿園」と連携し、買い物支援モデル事業を実施いたしました。

今回は、五日市が開催されている直方商店街へ、3法人が所有している車両と本会所有のマイクロバスでお住まいの地域から商店街までの送迎を行いました。

参加者の皆様には「久しぶりに商店街に行くことができ楽しかった」「バスで送迎してもらえらるから重い物も買っことができた」「今度は他のスパーにも連れて行ってもらいたい」など、いろいろなお声をいただきました。

今後、継続的な支援ができるよう、社会福祉法人と地域をつなぎ、買い物支援の仕組みを確立し定例化を目指していきます。



買い物支援モデル事業のメリット

- ① 宅配や買い物代行とは違い、実際に商品を自分の目で見えて選ぶ楽しさが味わえる。
- ② 社会福祉法人の車両の空き時間を活用。
- ③ 高齢者の運転免許証の返納をアシスト。
- ④ 運転免許証返納後の高齢者の閉じこもり予防。

災害ボランティアバス運行！



家具や室内の拭き掃除、屋内・敷地内の泥のかき出し作業、仮置き場への積み込み・運搬などを行いました。

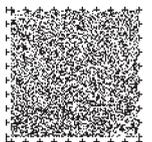
参加された皆様からは、「ニュースを見て、災害ボランティアに行きたいという気持ちはあったが、久留米市までの運転が不安だったため、バスで送迎していただけると聞いて非常に助かりました」「少しでも被災者の方々の役に立てればと思い、休日を利用して参加しました」というお声をいただきました。また、初めてボランティアに参加した高校生からは、「喜んでもらえてよかった。また参加



をしたい」との声もいただきました。

被災者の方からは、「たくさんのボランティアさんに来ていただけて本当に良かったです」と感謝の言葉をいただき、無事に直方市へ帰着しました。

災害ボランティアバス運行のため、ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



車いすなどの貸し出しをしています。詳しくはお問い合わせください。

